

運用報告書(全体版)

第2期<決算日 2019年9月17日>

One世界分散セレクト (Aコース)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年9月28日から無期限です。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*と「DIAマナーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、別に定める投資信託証券については、適宜見直しを行います。 ※別に定める投資信託証券：「Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI Aクラス」
運用方法	主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を実質的な投資対象とする別に定める投資信託証券に投資します。なお、別に定める投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。 別に定める投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。 別に定める投資信託証券やその配分比率については、適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた別に定める投資信託証券が投資対象から除外されたり、わが国を含む世界各国の様々な資産への分散投資に資すると判断される投資信託証券が新たな投資対象として定められることがあります。 1万口当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日(原則として毎年3月および9月の各15日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：100年ギフト

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One世界分散セレクト(Aコース)」は、2019年9月17日に第2期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

One世界分散セレクト（Aコース）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	基 準 価 額			投 資 信 託 純 資 産 組 入 証 券 総 額
		税 込 分	込 配 金	期 騰 落 中 率	
(設 定 日) 2018年9月28日	円 10,000		円 —	% —	% —
1 期 (2019年3月15日)	9,838		0	△1.6	97.9
2 期 (2019年9月17日)	9,932		0	1.0	98.9

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

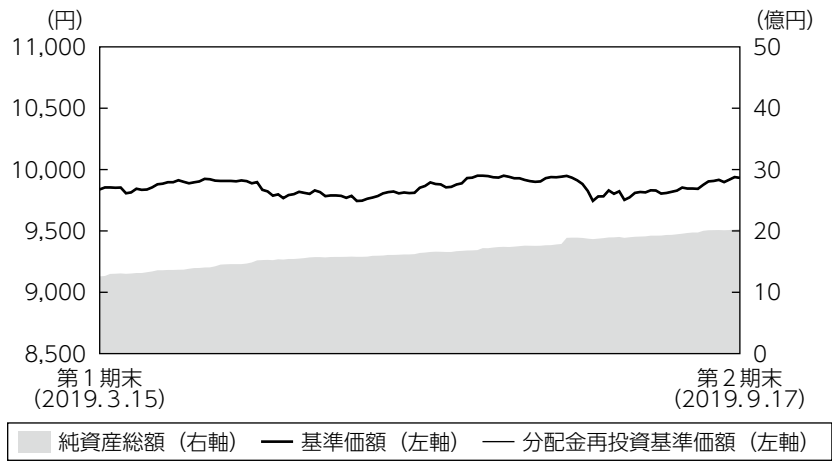
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2019 年 3 月 15 日	円 9,838	% —		% 97.9
3 月 末	9,837	△0.0		99.0
4 月 末	9,888	0.5		97.7
5 月 末	9,786	△0.5		99.1
6 月 末	9,878	0.4		99.6
7 月 末	9,934	1.0		99.1
8 月 末	9,853	0.2		97.4
(期 末) 2019 年 9 月 17 日	9,932	1.0		98.9

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■当期の運用経過（2019年3月16日から2019年9月17日まで）

基準価額等の推移



第2期首： 9,838円
第2期末： 9,932円
(既払分配金0円)
騰落率： 1.0%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

欧米の金融緩和姿勢などを背景に、先進国、新興国ともに国債利回りが低下（価格が上昇）したこと、金（ゴールド）の価格が上昇したことがプラスに寄与しました。また、米中貿易摩擦への懸念はあったものの、米国の利下げ期待などを受けて各国の株式市場が上昇基調で推移したこともプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI Aクラス	1.4%
D I AMマネーマザーファンド	0.0%

(注) Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI Aクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

欧米の金融緩和姿勢などを背景に、先進国債券や新興国債券は価格が上昇（金利が低下）しました。安全資産として金（ゴールド）も買われ、価格が上昇しました。2019年5月や8月は、米中貿易摩擦の激化懸念などから株式市場が下落する局面もありましたが、米国の利下げ期待などもあり、先進国株式市場や先進国リート市場は概ね上昇基調で推移しました。

為替市場では、欧米の金融緩和姿勢や米中貿易摩擦への懸念から、主要通貨に対して円高が進行しました。特に2019年5月や8月は、米国の対中関税引き上げ方針といった米中貿易摩擦の激化などを背景にリスク回避姿勢が強まったことや、欧米の金利低下などの影響で、円高が進行しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.2%台～△0.0%台のレンジで推移しました。米国の中央銀行にあたるF R B（米連邦準備理事会）が米中貿易問題の深刻化が米国景気に悪影響を与えるのではないかとこの見方から再び金融緩和姿勢を強める中、日銀は消費増税を控えて緩和的な金融政策を維持しているため、3ヵ月物国庫短期証券利回りは小幅な動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンド I Aクラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンド I Aクラス

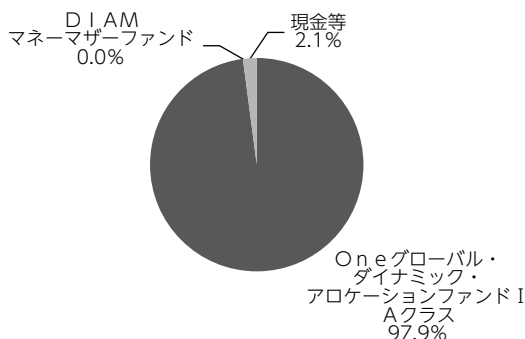
2019年5月上旬から6月上旬、および8月中旬から9月上旬は、市場環境の不安定化から株式等の収益追求資産の比率を引き下げ、基準価額の下落抑制を図りました。それ以外の期間は、概ね市場環境が堅調に推移したことから、国債等のインカム資産と株式等の収益追求資産をバランス良く保有し、相場上昇の恩恵を享受しました。また、国内債券など利回りが低い資産については期を通じて配分を減らしました。

●D I A Mマネーマザーファンド

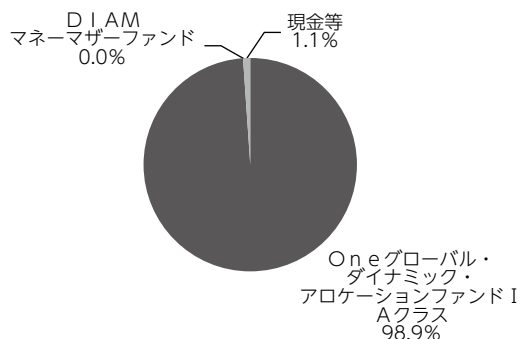
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

期首（前期末）



期末



分配金

当期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	当期
	2019年3月16日 ～2019年9月17日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	54円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。

（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ Aクラスの組入比率は高位を維持します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ Aクラス

世界の幅広い資産にバランス良く分散投資するとともに、状況に応じた適切な資産配分を行うことにより、基準価額の相対的に安定した値動きと収益の確保をめざします。

●DIAMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である２％まではまだ距離があるため、当面は金融政策の据え置きが予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを組入れた運用を行っていきます。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	(2019年3月16日 ～2019年9月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.384%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,858円です。
（投信会社）	(12)	(0.121)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(24)	(0.247)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	38	0.386	

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

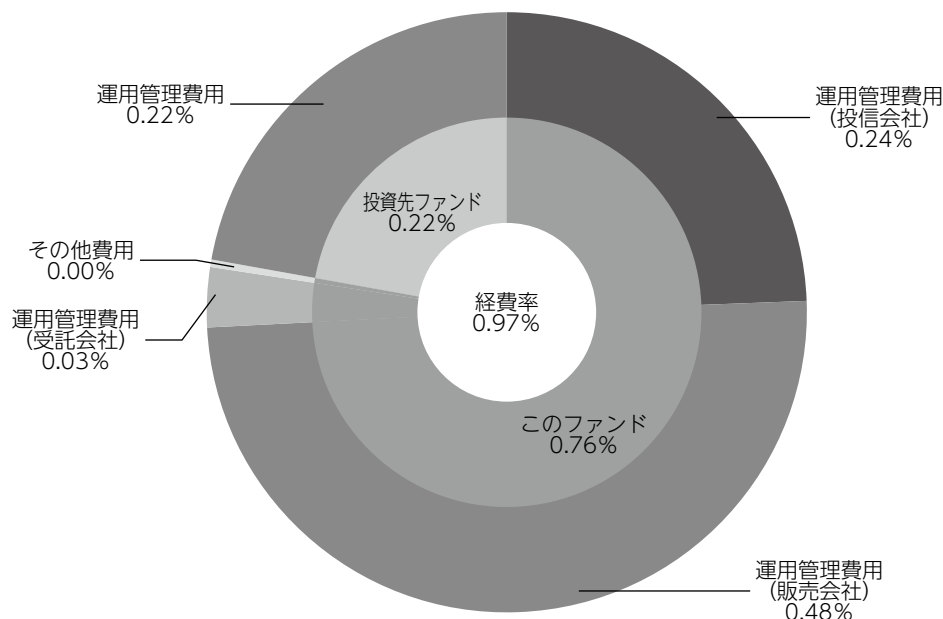
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.97%です。



経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②）	0.97%
①このファンドの費用の比率	0.76%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国邦貨建	Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI Aクラス	千口 76.122	千円 755,000	千口 －	千円 －

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
期中の利害関係人との取引等はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI Aクラス	千口 125.055	千口 201.177	千円 2,010,562	% 98.9
合 計	125.055	201.177	2,010,562	98.9

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
D I A M マ ネ ー マ ザ ー ファ ン ド	千口 99	千口 99	千円 100

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	2,010,562	98.6
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	100	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	28,259	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,038,922	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年9月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,038,922,648円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	28,259,680
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	2,010,562,938
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド(評価額)	100,030
(B) 負 債	6,353,592
未 払 信 託 報 酬	6,327,928
そ の 他 未 払 費 用	25,664
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	2,032,569,056
元 本	2,046,582,931
次 期 繰 越 損 益 金	△14,013,875
(D) 受 益 権 総 口 数	2,046,582,931口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C／D)	9,932円

(注) 期首における元本額は1,279,970,201円、当期中における追加設定元本額は774,062,571円、同解約元本額は7,449,841円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月16日 至2019年9月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△16,852円
受 取 利 息	34
支 払 利 息	△16,886
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	22,494,736
売 買 益	22,521,073
売 買 損	△26,337
(C) 信 託 報 酬 等	△6,353,592
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	16,124,292
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△4,908,693
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△25,229,474
(配 当 等 相 当 額)	(△16,122)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25,213,352)
(G) 合 計(D＋E＋F)	△14,013,875
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△14,013,875
追 加 信 託 差 損 益 金	△25,229,474
(配 当 等 相 当 額)	(△16,122)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25,213,352)
分 配 準 備 積 立 金	11,232,389
繰 越 損 益 金	△16,790

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	11,232,389
(c) 収 益 調 整 金	0
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	11,232,389
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	54.88
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては分配方針に基づき、無分配とさせていただきます。

<補足情報>

■Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンド I の内容

Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンド I は、One世界分散セレクト（Aコース）の決算日時点でアニュアルレポートが発行されていないため、費用の内訳等のデータはございません。

以下は、One世界分散セレクト（Aコース）が投資を行っているOneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンド I の現地2019年9月17日現在の有価証券明細です。

銘柄分類	通貨	評価額（円）
COMMON STOCKS		
Commodity		
INVESCO DB OIL FUND	U.S. DOLLAR	141,207,525
ISHARES GOLD TRUST	U.S. DOLLAR	131,608,876
Commodity 小計		272,816,401
Corp/Pref-High Yield		
ISHARES USD SHORT	U.S. DOLLAR	431,532,793
Corp/Pref-High Yield 小計		431,532,793
Emerging Market-Debt		
ISHARES JPM EM BND	U.S. DOLLAR	847,629,234
Emerging Market-Debt 小計		847,629,234
Exchange Traded Fund		
ISHARES GLOBAL REIT	U.S. DOLLAR	410,969,623
Exchange Traded Fund 小計		410,969,623
Geo Focus-Debt		
ISHARES HIGH YLD COR	EURO	568,577,833
Geo Focus-Debt 小計		568,577,833
COMMON STOCKS 合計		2,531,525,884
FUND LEVEL		
EUR FORWARD		
EUR FW	EURO	△334,893,899
EUR FORWARD 小計		△334,893,899
GBP FORWARD		
GBP FW	BRITISH POUND	12,123,560
GBP FORWARD 小計		12,123,560
USD FORWARD		
USD FW	U.S. DOLLAR	△709,860,151
USD FORWARD 小計		△709,860,151
FUND LEVEL 合計		△1,032,630,490

銘柄分類	通貨	評価額 (円)
FUTURES		
FUTURES		
EURO BTP ITALIAN	EURO	△595,414
EURO STOXX 50	EURO	8,258,085
EURO-BUND 10 YR FUT	EURO	△774,756
EURO-OAT FUTURE	EURO	△2,266,878
LONG GILT FUTURE	BRITISH POUND	△1,253,521
MSCI EMG MKT IND FUT	U.S. DOLLAR	4,673,374
S&P 500 EMINI FUT	U.S. DOLLAR	8,049,640
TOPIX INDEX FUTURE	JAPANESE YEN	10,260,000
US 10YR NOTE FUTURE	U.S. DOLLAR	△6,338,508
FUTURES 小計		20,012,022
MARGIN		
EUR MARGIN	EURO	67,450,395
GBP MARGIN	BRITISH POUND	5,218,052
JPY MARGIN	JAPANESE YEN	46,198,600
USD MARGIN	U.S. DOLLAR	112,153,315
MARGIN 小計		231,020,362
FUTURES 合計		251,032,384
FX CASH BALANCES		
UnGrouped Security		
BRITISH POUNDS	BRITISH POUND	5,032,836
EURO	EURO	52,246,075
UNITED STATES DOLLAR	U.S. DOLLAR	33,808,984
UnGrouped Security 小計		91,087,895
FX CASH BALANCES 合計		91,087,895
ポートフォリオ合計		1,841,015,673

(注1) 米国みずほ銀行のデータをもとに、アセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 上記明細は、One世界分散セレクト (Aコース) が投資対象とするOneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドI 全体の内容です。

D I AMマネーマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年4月5日）

（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

D I AMマネーマザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 比 率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
6期(2015年4月6日)	円	%	%	%	%	百万円
	10,090	0.1	82.8	—	—	9,524
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

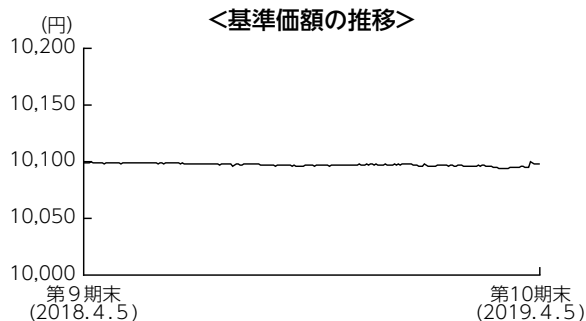
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	新株予約権付 社債(転換社債) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2018年 4 月 5 日	円 10,099	% －	% 71.1	% －	% －
4 月 末	10,099	0.0	71.0	－	－
5 月 末	10,099	0.0	73.6	－	－
6 月 末	10,098	△0.0	72.2	－	－
7 月 末	10,098	△0.0	72.2	－	－
8 月 末	10,097	△0.0	88.4	－	－
9 月 末	10,097	△0.0	79.1	－	－
10 月 末	10,097	△0.0	77.9	－	－
11 月 末	10,097	△0.0	78.2	－	－
12 月 末	10,096	△0.0	71.4	－	－
2019年 1 月 末	10,097	△0.0	71.4	－	－
2 月 末	10,095	△0.0	71.4	－	－
3 月 末	10,100	0.0	79.4	－	－
(期 末) 2019年 4 月 5 日	10,098	△0.0	79.4	－	－

(注 1) 騰落率は期首比です。

(注 2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2018年4月6日から2019年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,098円となり、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策によってコールローンがマイナス利回りとなっているため、その影響を受けて基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね△0.3%～△0.1%台で推移しました。米国が

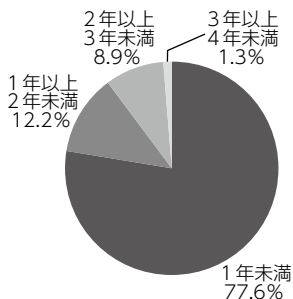
金融政策正常化のペースを落としたことや国債市場の需給要因から一時的に利回りが低下する局面もありましたが、米国や中国の景気が市場の見方ほど悪くないのではないかとの見通しが強まったことから期末にかけて利回りは上昇し、期を通して見るとレンジ内での推移となりました。

ポートフォリオについて

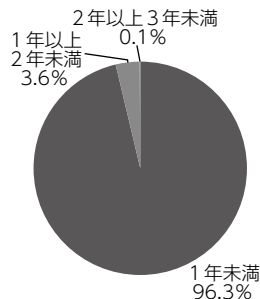
残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを中心に運用を行います。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合 計	0	0.000

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

■ 売買及び取引の状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国 債 証 券	12,636,104	(-)
	地 方 債 証 券	40,605	(34,950)
	特 殊 債 券	-	200,019 (329,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D / C
公 社 債	百万円 12,676	百万円 202	% 1.6	百万円 200	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 12,600,000	千円 12,631,008	% 78.1	% －	% －	% －	% 78.1
地 方 債 証 券	135,830	136,409	0.8	0.6	－	－	0.8
特 殊 債 券	66,000	67,019	0.4	－	－	0.1	0.4
合 計	12,801,830	12,834,437	79.4	0.6	－	0.1	79.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B 格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
3 0 1 回 利付国庫債券（10年）	1.5000	200,000	200,658	2019/06/20
1 2 3 回 利付国庫債券（5年）	0.1000	12,000,000	12,029,040	2020/03/20
3 8 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,281	2020/05/15
3 9 1 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,672	2020/08/01
3 9 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,357	2020/09/01
小 計	－	12,600,000	12,631,008	－
(地方債証券)	%	千円	千円	
2 6 年度 4 回 静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,816	2019/06/24
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,999	2019/06/27
2 1 年度 6 回 愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,045	2019/07/30
2 6 年度 京都府京都みらい債	0.1600	9,200	9,194	2019/09/02
3 3 1 回 大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,078	2019/10/29
2 6 年度 7 回 福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,495	2019/12/25
2 1 年度 3 5 回 兵庫県公募公債	1.4600	40,000	40,457	2020/01/22
4 3 回 川崎市公募公債 5年	0.1370	10,850	10,863	2020/03/19
2 7 年度 2 回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,697	2020/05/25
2 7 年度 京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,762	2020/09/02
小 計	－	135,830	136,409	－
(特殊債券)	%	千円	千円	
8 9 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,026	2019/09/30
9 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,075	2019/11/29

銘	柄	期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券)		%	千円	千円	
1 0 0 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,117	2020/02/28
1 1 2 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,455	2020/07/31
1 1 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,093	2020/09/30
1 3 3 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,139	2021/04/30
1 3 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,111	2021/06/30
小	計	－	66,000	67,019	－
合	計	－	12,801,830	12,834,437	－

■投資信託財産の構成

2019年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
	千円	%		
公 社 債	12,834,437	79.4		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,332,745	20.6		
投 資 信 託 財 産 総 額	16,167,183	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	16,167,183,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,330,773,596
公 社 債(評価額)	12,834,437,613
未 収 利 息	1,577,825
前 払 費 用	394,512
(B) 負 債	－
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	16,167,183,546
元 本	16,010,803,187
次 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(D) 受 益 権 総 口 数	16,010,803,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,098円

(注1) 期首元本額	1,020,388,428円
追加設定元本額	14,995,366,726円
一部解約元本額	4,951,967円
(注2) 期末における元本の内訳	
クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,710円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <中国元コース>	654,944円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
D I A M グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源国通貨バスケットコース	4,486,988円
D I A M グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
D I A M グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
D I A M 米国リート・インカムプラス	994,728円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
D I A M－ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
マッシュューズ・アジア株式ファンド	99,019,705円
O n e世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
O n e世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
O n e世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
リスクコントロール型E T F分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	39,612,786円
USD/JPYダイナミックヘッジ戦略ファンド－2019 (適格機関投資家限定)	14,851,485,149円
期末元本合計	16,010,803,187円

■損益の状況

当期 自2018年4月6日 至2019年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,929,090円
受 取 利 息	7,285,281
支 払 利 息	△356,191
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,516,322
売 買 益	73,746
売 買 損	△10,590,068
(C) そ の 他 費 用	△279
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△3,587,511
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,082,629
(F) 解 約 差 損 益 金	△48,033
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	149,933,274
(H) 合 計(D+E+F+G)	156,380,359
次 期 繰 越 損 益 金(H)	156,380,359

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。